

[横浜みなとみらいホール]
令和3年度業務報告及び収支決算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688㎡
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成24年4月1日から令和4年3月31日まで

3 施設運営にかかる基本方針

(1) 基本的な方針の総括

大規模改修工事に伴う長期休館期間中となった令和3年度は、新型コロナの感染防止を図りながら横浜18区コンサートをはじめとして市内各所で事業を展開し、“豊かな「音楽社会」を拓くコンサートホール”としての存在感を示し続けるとともに、横浜WEBステージのコンテンツやSNSを活用した積極的な情報発信によりリニューアルオープンへの期待を高めました。

また、リニューアルオープン後の円滑な施設の運営に向け、貸館業務において利用者の利便性を向上させるシステム改良、来場者サービスを強化するレセプション制度の見直し、施設の応援者を増やす新しい友の会の制度設計など広範に渡り着々と準備を進めました。

みなとみらい21地区内に集積しつつある音楽施設や企業の研究開発部門との関係構築を図るべく「みなとみらい21ミュージックシティ推進検討会」に継続的に参加し、今後の方向性について協議を進めたほか、令和4年度からスタートする「みなとみらいSTREET MUSIC」において出演応募者の審査に協力するなど、実質的な貢献も果たしています。

(2) 令和3年度の業務の方針・達成目標の総括

開館当初から継続して開催され歴史を積み重ねてきた重要な事業として「横浜市招待国際ピアノ演奏会」、「Just Composed」、「ミュージック・イン・ザ・ダーク」を、次世代を対象に長く親しまれてきた事業として「こどもの日コンサート」を、それぞれに新たな内容を盛り込み他のホールを会場に実施することで、第2期指定管理期間の最終年度までミッションに沿った活動を継続しました。

また、休館中だからこそできる事業として、横浜18区コンサートを市内10区の会場で実施し、出演した横浜ゆかりの演奏家への称賛と地域の身近なホールへの再評価へとつながる成果を来場者アンケートの結果から読み取ることができました。

新型コロナウイルス感染防止対策の徹底については、国、神奈川県、横浜市のガイドラインを遵守した公演来場者への対応だけでなく、大ホール、小ホールの利用申請と抽選の非対面による実施など運営全般に渡って感染リスクを排除する改善策を練って実行しました。

【事業】

ホールが使用できない休館期間を逆にとり、市内全18区の文化施設や学校へのアウトリーチを積極的に展開。横浜みなとみらいホールならではの音楽を全市域へ届け、市民との繋がりを継続しました。特に「横浜18区コンサート」は、地域の音楽ファンとのつながりの維持に留まらず、身近な場所で質の高い演奏をできるだけ低価格で提供したことから、音楽に親しむ層の掘り起こしや地域施設再評価のきっかけにもなりました。また、各区・区民文化センターなどと顔の見える関係性を築くことも出来ました。

「新たな音楽文化の提案」、「次代の芸術家、音楽と市民をつなぐ」プロジェクトとしては、新たに「こどもの日コンサート」に中学生プロデューサーを導入。中学生が主体的に公演制作に携わったこの特別な音楽体験が、彼等の今後の成長に影響を与えることが期待されます。「第39回横浜市招待国際ピアノ演奏会」では、国内外から将来を嘱望される若手ピアニスト4名を横浜から広く紹介。4名のピアニストそれぞれの個性と技量が存分に際立つ充実した演奏会となり、次の第40回開催への弾みがつきました。また、「みなとみらい Super Big Band」は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動や公演本番に制限・工夫を強いられましたが、子どもたちが音楽に触れ、豊かな感性を育む場を確実に提供しました。そして、「横浜市招待国際ピアノ演奏会」過去出演者の「横浜18区コンサート」へのソリスト起用、「みなとみらい Super Big Band」卒業生の地域連携事業への起用など、若手アーティストの活躍の場を広げる人材の循環もなされています。

休館中のオルガン事業は、「パイプオルガンと横浜の街」を開催し市内に点在するオルガンを巡るとともに、パイプオルガンが日本で初めて横浜に建造されて150年のアニバーサリー・イヤーを飾る横浜とオルガンの歴史を紐解くレクチャーを実施。リニューアルオープンに向けて、市民とともに横浜独自の文化資産ともいえるパイプオルガンを見つめ直すきっかけになりました。

この他、コンサートホールでは体験できない最新技術活用による動画配信事業も実施。「横浜WEBステージ」では、新たに8K3D技術を駆使したコンテンツを配信し、商業施設QSYでも同コンテンツによる8K3D映像体験イベントを行いました。新たなアプローチで音楽と横浜の街の魅力を発信し、横浜みなとみらいホールの存在を国内外へとアピールしました。

【施設運営】

2022年秋のリニューアルオープンに向けて、持続可能なホール運営を目指し運営面の見直しを行いました。運営変更にあたってホール利用要綱、財団臨時職員規程など必要なルール改訂を

行うとともに、国内オーケストラを始めとした協力団体および一般団体に対して、受付方法など必要な情報を取りまとめ、情報提供しました。

また、利用受付を効率的に行えるようウェブサイトにシステム予約機能を新たに搭載するとともに施設予約システムの改修を進めました。

【施設維持管理】

PL0T48に同居する横浜美術館と連携のうえ仮事務所の適切な維持管理に努めました。

ホールの大規模改修工事の定例会議に参加し情報収集に努め、事務所内で必要な検討を行うとともに、事務所内のものを中心に備品の更新を進めました。

【広報】

リニューアルオープンに向けて当館独自の価値を発信するため、新たにホールコンセプトとシンボルマークを定めました。同コンセプトを搭載した公式ウェブサイトの更新を進め公開に向けて準備するとともに、再開館時に関係者宛に配布する記念誌の制作を進めました。

休館中のホール事業、取組については積極的に広報 PR に努め専門誌のみならず、新聞紙面やラジオへ露出するほか、館長対談シリーズ、プロデューサー日記など企画配信し、ホールファンへのリニューアルオープンへの期待を高める取組を進めました。

4 経営についての達成状況

(1) 施設が持つ機能を最大限に活かした総合力ある経営について

—総合力ある経営強化に向けた休館中の取組—

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>(ア)組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各専門に応じた適正な人員配置 ●経営力を高めるブランディングの推進 	<p>(ア)組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■専門性が発揮できる体制づくりにより、組織力強化を目指します。 ■ブランディングのための調査・分析によって横浜みなとみらいホールの潜在的な強みと目指すべき方向性を明確にし、経営力の強化につなげる道筋を示します。 	<p>(ア)組織内連携と経営強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■各部署の専門性に応じた人員配置を行いました。 ■プロジェクトを立ち上げ財団内他施設からの意見も吸い上げつつ横浜みなとみらいホールの潜在的な強みと目指すべき方向性を明確にして、新しいスローガンとコンセプトを策定しました。あわせて、同コンセプトを表現するオリジナルシンボルマークを定めました。

<p>(イ)財団全体での総合力 発揮</p> <p>●横浜市所管課、財団事務局や所管施設と密接に連携します。</p> <p>(ウ)社会的協働・連携による取組み</p> <p>●教育機関・地元オーケストラ団体との協働・連携に取組み、音楽文化を通じた地域社会への貢献度を高めます。</p>	<p>(イ)財団全体での総合力発揮</p> <p>□横浜市および財団所管他施設との連携事業を実施：2プロジェクト</p> <p>(ウ)社会的協働・連携による取組み</p> <p>□教育機関との協働・連携企画：2件</p>	<p>(イ)財団全体での総合力発揮</p> <p>□3プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/21, 8/24 杉田劇場 横浜 WEB ステージ ・12/5 横浜能楽堂 ミュージックインザダーク ・3/22 大佛次郎記念館 サロンコンサート <p>(ウ)社会的協働・連携による取組み</p> <p>□教育機関との連携 3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージック・イン・ザ・ダーク（東京藝術大学、筑波大学附属視覚特別支援学校） ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム（市内小学校及び特別支援学校 計8校） ・吹奏楽応援プロジェクト！（市内中学校 計2校） <p>□オーケストラ団体との協働、連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川フィル ・ハマの JACK
--	--	---

(2)みなとみらい地区及び都心部の活性化及び都市の魅力づくりへの寄与について

<p>[取組内容]</p> <p>(ア)MICE 利用の推進</p> <p>●リニューアルオープン後の MICE 利用促進に向けた営業と協力事業を実施します。</p> <p>(イ)MM21 の文化施設間連携の推進</p> <p>●みなとみらい 21 エリアに集積する音楽施設が連携して目指す「ミュージックシティ」としてのブランディング</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)MICE 利用の誘致</p> <p>□パシフィコ横浜との連携事業：1回</p> <p>(イ)MM21 の文化施設間連携の推進</p> <p>■みなとみらい 21 ミュージックシティ推進検討会の構成メンバーとして「ミュージックシティ」での連携のイメ</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>(ア)MICE 利用の誘致</p> <p>□1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/17 お城 EXPO 前夜祭に企画協力 <p>(イ)MM21 の文化施設間連携の推進</p> <p>■2022年1月に発足した「みなとみらい 21 ミュージックシティ推進委員会」に構成メンバーとして参画しました。同委員会コア会議など施設間のプラットフォームを通じて「ミュージックシティ」</p>
---	---	--

に積極的に関わります。	ージを具体化し、より大きなオープンイノベーションの中に位置づけます。	ブランディングの確立及び当館のプレゼンス向上を目指しています。 ■上記推進委員会の取組である「みなとみらいストリートライブ」出場アーティスト審査、広報に協力しました。
-------------	------------------------------------	--

5 事業についての達成状況

(1) 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し音楽文化を支える裾野を広げるための取組

<p>[目指す成果]</p> <p>長期休館となることを好機ととらえ、これまで継続してきた企画を基に、横浜市内全域で各区や区民文化センターとの連携による鑑賞事業や、公演制作に中学生が携わるなど、さまざまなアプローチによる音楽事業を実施することで、市民生活の中に音楽を根付かせていきます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>「横浜 18 区コンサート」では、各地域の小規模な会場に合わせ、通常オーケストラ編成の協奏曲を弦楽五重奏版で構成しました。来場者アンケートでは、オーケストラとはまた違った聴き応えを感じていただけるお客様や、各区の会場に初めて訪れた方が平均 50%程ということもあり、横浜 18 区を知る良い機会となった、という声を多くいただきました。各区とも後援や広報協力といった連携ができ、今後にもつながるものとなりました。</p> <p>「こどもの日コンサート」では、中学生が事業の企画・構成から広報・プログラム製作までに携わる“中学生プロデューサー”制度を取り入れました。43 名もの中学生が参加し、中学生ならではの企画やアイデアを取り入れ、また出演にも中学生ソリストを迎え、少年少女合唱団の映像出演など、子どもたちが創りあげるコンサートになりました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●横浜 18 区コンサート</p> <p>*横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去出演者や横浜文化賞奨励賞過去受賞者による演奏会を横浜市内数か所で実施します。実施にあたっては、各区地域振興課や区民文化センター等と連携し、企画制作します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●横浜 18 区コンサート</p> <p><input type="checkbox"/>実施地域 9 区</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 2,250 人</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●横浜 18 区コンサート</p> <p><input type="checkbox"/>実施地域 10 区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/14 青葉区 (フィリアホール) ・9/16 金沢区 (金沢公会堂) ・11/17 栄区 (リリス) ・11/18 瀬谷区 (瀬谷公会堂) ・1/12 保土ヶ谷区 (かながわアートホール) ・1/13 磯子区 (杉田劇場) ・1/27 鶴見区 (サルビアホール) ・1/28 泉区 (泉公会堂) ・3/1 港南区 (ひまわりの郷) ・3/2 旭区 (サンハート) <p>*横浜市招待国際ピアノ演奏会出演者 3 人 (萩原麻未、福岡洸太郎、實川風)</p> <p>*横浜文化賞奨励賞受賞者</p>

<p>●こどもの日コンサート *神奈川県立青少年センター ホールを会場に2公演実施 *新規の取組として、中学生が公演の企画・制作に携わり、公演や演奏家と来場のお客様をつなぐ役割を担います。</p>	<p>●こどもの日コンサート <input type="checkbox"/>顧客満足度 80% <input type="checkbox"/>入場者数 700人</p>	<p>1人(山根一仁) *金の卵見つけました 出演者 1人(辻彩奈) ※大関万結 (横浜文化賞奨励賞受賞者) <input type="checkbox"/>顧客満足度 93.8% <input type="checkbox"/>合計入場者数 1,761人 (全会場定員の50%設定で実施) ※区後援:10区 ●こどもの日コンサート <input type="checkbox"/>顧客満足度 95.6% <input type="checkbox"/>合計入場者数 687人</p>
--	--	--

(2)新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取組

<p>[目指す成果] クラシック音楽の専門ホールとして培ってきた専門性と、市内の様々な地域・人々との協働・連携により、音楽の新しい価値を創造・発信する事業を実施し、市民の創造性を高めるとともに、「移動型横浜みなとみらいホール」事業を実施し、リニューアル後の横浜みなとみらいホールのプレゼンス向上を目指します。 [成果についての振り返り] 「Just Composed」では、あまり触れる機会の少ない「オンド・マルトノ」という楽器に焦点をあて、広く多くの方に紹介するとともに、新たな作品を生むことで、この楽器を用いた作品のレパートリー、新たな表現を生み出すことができました。また、海外で活躍する日本人作曲家を起用することで、日本における紹介やこれからの活動を後押しするものとなりました。 「横浜 WEB ステージ」では、令和3年度新規に33コンテンツを配信。リコーダー合奏の練習にも役立つパート分けの動画やリコーダーの歴史、楽器づくりワークショップなど教育的な視点の動画配信のほか、横浜中華街の「横浜媽祖廟」や「よこはまコスモワールド」など、横浜の名所で撮影・収録した8K3Dの迫力ある演奏動画を鑑賞できるイベントを開催し、音楽と動画を組み合</p>
--

わせた新たな芸術のカタチを提案する事業を継続実施しました。

「ミュージック・イン・ザ・ダーク®」では、横浜能楽堂を会場に、シリーズ初めての和楽器を取り上げました。暗闇の能舞台で響く尺八や箏の音色、高校生の澄んだ歌声は、まさに障がいの有無など関係なく、来場者に存分にお楽しみいただくことができました。来場者アンケートでも、心で音楽を聴くことができた、視覚を取り除いた良い企画など、好意的な意見が非常に多く見られました。

「パイプオルガンと横浜の街」では、感染症の影響が少なからず残る中、会場定員を抑えつつの実施となりましたが、演奏会の会場などは申し込み開始後すぐに定員に達し、今回3年目の実施となる本事業を楽しみにお待ちいただいている方がいらっしゃる、横浜の街や音楽に興味を持っている方が多いということをあらためて認識するものとなりました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 現代音楽の紹介</p> <p>●若手作曲家を起用した 「Just Composed 2022 Spring in Yokohama」 (会場：神奈川県民ホール小ホール)</p> <p>*新進作曲家に新曲創造の機会を提供し、横浜から発信するシリーズ公演。シリーズ初登場となる「オンド・マルトノ」を取り上げ、楽器の魅力とともに、新しい音楽の価値を創造します。</p>	<p>ア 現代音楽の紹介</p> <p>□入場者数 300人</p>	<p>ア 現代音楽の紹介</p> <p>□入場者数 261人</p> <p>*10/29～関連レクチャー動画配信 (3/24時点視聴数) 第1章：585 第2章：210 第3章：609 第4章：171 第5章：171</p> <p>*3/13「オンド・マルトノ」 体験イベント 9人参加(定員10人)</p>
<p>イ 移動型横浜みなとみらいホール</p> <p>●バーチャル体験イベント</p> <p>*前年度の「横浜WEBステージ」で収録した音声・動画等を活用したイベントを実施します。</p>	<p>イ 移動型横浜みなとみらいホール</p> <p>□バーチャル体験イベント 3回</p>	<p>イ 移動型横浜みなとみらいホール</p> <p>□バーチャル体験イベント 1回</p> <p>*8K3D動画鑑賞 316人参加 (1日14回実施)</p>

<p>ウ 横浜芸術アクション事業</p> <p>●横浜 18 区コンサート < 5 (1) 再掲></p> <p>*横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去出演者や横浜文化賞奨励賞過去受賞者による演奏会を横浜市内数か所で実施します。実施にあたっては、各区地域振興課や区民文化センター等と連携し、企画制作します。</p> <p>●クリエイティブ・インクルージョン事業</p> <p>*障がいの有無に関係なく、誰もが音楽を楽しむ機会を提供する事業。会場の照明をすべて消した空間で行う「ミュージック・イン・ザ・ダーク」の実施 (会場：横浜能楽堂)</p> <p>●横浜 WEB ステージ</p> <p>*新しい音楽体験として、最新技術を駆使した動画コンテンツを配信する事業継続実施。定期的に新規コンテンツも配信します。</p> <p>●オルガン連携事業</p> <p>*「パイプオルガンと横浜の街」の実施。横浜市内のパイプオルガンを、横浜の街の魅力とともに、オルガン音楽と合わせて紹介します。</p>	<p>ウ 横浜芸術アクション事業</p> <p>□顧客満足度 80%</p> <p>□合計入場者数 3,000 人</p>	<p>ウ 横浜芸術アクション事業</p> <p>□顧客満足度 94.0%</p> <p>□合計入場者数 2,933 人</p> <p>*横浜 18 区コンサート 1,761 人</p> <p>*ミュージック・イン・ザ・ダーク 297 人 (2 公演)</p> <p>*横浜 WEB ステージ イベント 316 人</p> <p>※令和 3 年度新規配信 33 コンテンツ</p> <p>*パイプオルガンと横浜の街 559 人</p>
---	--	--

(3) 次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取組

[目指す成果]

アーティストの立場で音楽を広める人材、コンサート制作で音楽と市民をつなぐ人材など、音楽文化を次代へ継承し持続可能にするために、若手音楽家や担い手の育成に取り組みます。特に次代を担う中高生の演奏活動を支援するとともに、音楽で人と人をつなぐ取組を市内の幅広い地域で展開し、次代の音楽文化を支える人材を育てていきます。

[成果についての振り返り]

「横浜 18 区コンサート」では、ソリストに近年の横浜市招待国際ピアノ演奏会出演者や横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞者等を起用し、横浜の広い地域のみなさまにアーティストを知っていただくという趣旨でも取組みました。横浜出身でも初めて訪れる区もあつたり、アーティストにとっても新鮮な場となりました。また、弦楽五重奏版で取組むコンチェルトにも新しい音楽へのアプローチや発見につながりました。

「みなとみらい Super Big Band」では、まん延防止措置期間も長く、活動が制限されましたが、秋には多くのイベントに参加させていただき、若さ溢れる演奏は各所で大きな声援をうけるバンドに成長しています。3月の単独コンサートでは、400名を超えるお客様を迎え、10曲を演奏できる実力も備えることができました。今年度は、卒業生が演奏させていただくイベントもあり、卒業後の活動支援にもつながっています。

「吹奏楽部応援プロジェクト」は、今年度の新規事業で、ぱんだウインドオーケストラが市内中学校の吹奏楽部を訪れ、演奏指導を行い、未だに以前のような活動が行えていない吹奏学部の生徒たちに、演奏技術の向上だけでなく、演奏や合奏の楽しさをより知ってもらう取組となりました。プロの指導を学校で受けられるという貴重な体験が今後の部活動への意欲や演奏への取組方などにもつながるよう、引き続き事業の展開を検討します。

「横浜市招待国際ピアノ演奏会」は、昨年予定していた4名のピアニストの出演が実現しました。各関係機関との調整を密に行い、来日できたピアニストもおおり、また、1名はディスクラヴィアによるリモート演奏となり、リアルとバーチャルが融合した演奏会は、コロナ禍の時代の一つの演奏会の手法を提案するものとなりました。長い歴史のある本演奏会を楽しみにしているお客様に、今後国内外で益々活躍するであろう3名の生のピアノ演奏をお聴きいただけたこと、将来ピアニストを目指す子どもたちとの交流の場を提供できたことが、大きな成果になりました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「横浜 18 区コンサート」 「Just Composed」等への登用 ● 「Just Composed」での作曲家育成 * 関連プレトークも実施 	<p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 若手アーティストの登用 8人 □ 若手作曲家 1名の登用 	<p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 若手アーティスト 9組 (8人+1グループ) * 横浜 18 区コンサート 萩原麻未 (ピアノ) 山根一仁 (ヴァイオリン) 辻彩奈 (ヴァイオリン) 福間洸太郎 (ピアノ) 實川風 (ピアノ)

<p>イ 一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>●みなとみらい Super Big Band</p> <p>* 中高生によるビッグバンド。単独コンサートのほか、地域イベントにも出演します。</p> <p>●吹奏楽部応援プロジェクト</p> <p>* 中学校の吹奏楽部を横浜市内の吹奏楽団等が指導し、合同演奏会を実施。</p>	<p>イ 一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>□「Big Band」 40人参加</p> <p>□「吹奏楽部」ワークショップ実施 2校</p>	<p>*こどもの日コンサート 荻原緋奈乃（中学生ソリスト） 若生麻理奈（中学生ソリスト）</p> <p>*ミュージック・イン・ザ・ダーク 風雅竹韻（尺八アンサンブル7名）</p> <p>*大佛次郎記念館サロンコンサート 中林俊也（サクソ）</p> <p>□若手作曲家 1名 山本哲也</p> <p>イ 一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <p>□「Big Band」 40人参加</p> <p>*8月単独コンサート中止</p> <p>*9/12「ジュニア・ジャズ・フェスティバル金沢2021」収録配信出演</p> <p>*10/10「横濱 JAZZ PROMENADE」 ライブ配信出演</p> <p>*10/24「アートフォーラムあざみ野ロビーコンサート」出演</p> <p>*11/3「かわさきジャズ」出演</p> <p>*11/20「クイーンズスクエアイベント」出演</p> <p>*3/18 単独コンサート（関内ホール） 409人入場</p> <p>*3/21「吉野町市民プラザ スプリングコンサート」出演（小編成）</p> <p>※11/20 イベントでは、卒業生バンドや卒業生で現在プロとして活動しているアーティストのバンドも出演。</p> <p>□「吹奏楽部応援プロジェクト」2校</p> <p>*浦島丘中学校（神奈川区）</p> <p>*田奈中学校（緑区）</p> <p>※ぱんだウインドオーケストラによる指導</p>
---	---	--

<p>ウ ピアニスト育成</p> <p>●第 39 回横浜市招待国際ピアノ演奏会</p> <p>*国内外から将来を嘱望されるピアニストを発掘し、横浜から広く紹介します。 (会場：神奈川県立音楽堂)</p> <p>エ 鑑賞以外の場面で芸術家や音楽と市民をつなぐ事業</p> <p>(ア)音楽大学やNPO法人、地域企業等との連携による事業の実施</p>	<p>ウ ピアニスト育成</p> <p>□若手ピアニスト4名の起用</p> <p>■こども交流会を実施し、ピアニストと子どもたち双方に今後の音楽活動や音楽体験への相乗効果を生み出します。</p> <p>エ 鑑賞以外の場面で芸術家や音楽と市民をつなぐ事業</p> <p>(ア)音楽大学・NPO・企業との連携事業</p> <p>□提携事業 5事業</p>	<p>ウ ピアニスト育成</p> <p>□若手ピアニスト 4名起用</p> <p>第39回横浜市招待国際ピアノ演奏会</p> <p>桑原志織</p> <p>ケイト・リウ</p> <p>ジャン・チャクムル</p> <p>ダニエル・チョバヌ</p> <p>□11/5 こども交流会実施 22名参加</p> <p>□11/7 関連レクチャー 60人</p> <p>※講師はカナダからリモート出演</p> <p>エ 芸術家や音楽と市民をつなぐ事業</p> <p>(ア)音楽大学・NPO・企業との連携</p> <p>□6事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/18・20 三溪園 観月会 ・10～2月 横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム (ST スポット横浜等との連携) ・12/5 ミュージック・イン・ザ・ダーク (東京藝術大学との連携) ・12/17 お城 EXPO 前夜祭 (パシフィコ横浜との連携) ・12/18 金沢区音楽振興事業「ピアノ・ヴァイオリンコンサート」 ・3/14 大佛次郎記念館サロンコンサート (共同電子エンジニアリング株式会社との連携)
--	---	--

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取組

<p>[目指す成果]</p> <p>音楽を鑑賞すること、体験すること、コンサートづくりに参加することなど、多感な子どもたちに様々な音楽体験の場を提供し、創造性、表現力、豊かな感性を育成するとともに、音楽の価値を継承します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>「こどもの日コンサート」の“中学生プロデューサー”は、「プログラム制作」「構成台本」「広報」「レセプション」の4グループに分かれて活動し、様々な角度から中学生の視点を取り入れました。6回の活動で、感染症の影響でオンラインでのミーティング参加となることもあり、また感染症の影響がある中でのコンサート創りといった検討も生じ、ひとつのコンサートを創りあげる苦労や学びを体験する機会を多く提供しました。</p> <p>「学校プログラム」では、長期休館中ということもあり、例年より多くの地域・学校へ芸術体験プログラムを提供しました。箏や雅楽、民族音楽（ジャンベ）といった、日ごろ触れる機会の少ない音楽の体験の場を提供し、初めての音楽体験を提供するだけでなく、体験型のプログラムでは、アーティストご協力のもと可能な限り多くの楽器を用意し、子どもたちに合奏する楽しさを体験できるプログラムを実施しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●こどもの日コンサート ＜5（1）再掲＞</p> <p>*神奈川県立青少年センター ホールを会場に2公演実施</p> <p>*中学生が公演の企画・制作に携わり、公演や演奏家と来場のお客様をつなぐ役割を担います。</p> <p>●学校プログラム</p> <p>*横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業として、例年より多くの学校で展開します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>●こどもの日コンサート</p> <p>□中学生プロデューサー 15人</p> <p>□入場者数 700人</p> <p>●学校プログラム</p> <p>□アウトリーチ学校数 8校</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>●こどもの日コンサート</p> <p>□中学生プロデューサー 43人</p> <p>□入場者数 687人 (定員の50%設定で実施)</p> <p>●学校プログラム</p> <p>□学校数 8校</p> <p>*10/4-6 東山田小学校（都筑区）</p> <p>*10/25・27・29 下和泉小学校（泉区）</p> <p>*11/17 北綱島特別支援学校（港北区）</p> <p>*11/29・30 蒔田小学校（南区）</p> <p>*1/14 上川井小学校（旭区）</p> <p>*1/18-20 伊勢山小学校（泉区）</p> <p>*1/24-26 横浜深谷台小学校（戸塚区）</p> <p>*2/14・16・18 朝比奈小学校（金沢区）</p> <p>※蒔田小学校は、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業外</p>

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取組

<p>[目指す成果]</p> <p>音楽文化の持つ力を活かし、市内各所で事業を実施します。地域コミュニティに活力をもたらす事業や、街の賑わい創りに貢献する事業、ホールへの来訪が難しい方々に音楽の魅力を直接伝える事業などのほか、アーティストが企画や制作に関わる事業など、音楽文化の持つ可能性を最大限に発揮し、市民やアーティストの横浜への愛着を育むとともに、リニューアル後の横浜みなとみらいホールへの期待感を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>令和4年度に本格的に事業展開する「プロデューサーin レジデンス」について、第1期のアーティスト・プロデューサーとして藤木大地が就任し、横浜みなとみらいホールをとりまく状況や現在取り組んでいる事業を交えた、今後の企画検討を進めました。大学連携や他都市との連携も視野に、様々な企画を検討しています。リニューアル後の横浜みなとみらいホールを大きく打ち出せるようアーティスト・プロデューサーとともに、よりいっそう推し進めていきます。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>ア アウトリーチ事業</p> <p>●学校プログラム</p> <p>< 5 (4) 再掲 ></p> <p>* 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業として、例年より多くの学校で展開します。</p> <p>●18区コンサート</p> <p>< 5 (1) 再掲 ></p> <p>* 横浜市招待国際ピアノ演奏会の過去出演者や横浜文化賞奨励賞過去受賞者による演奏会を横浜市内数か所で実施します。実施にあたっては、各区地域振興課や区民文化センター等と連携し、企画制作します。</p> <p>イ 横浜音祭り 2022 準備</p> <p>●プロデューサー in レジデンス</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア アウトリーチ事業</p> <p>□学校プログラム</p> <p>8校</p> <p>□18区コンサート</p> <p>9公演</p> <p>■各区地域振興課、区民文化センターと連携した公演実施</p> <p>イ 横浜音祭り 2022 準備</p> <p>□プロデューサー (アーティスト) 選定 1名</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア アウトリーチ事業</p> <p>□学校プログラム 8校</p> <p>※例年4校程度</p> <p>□横浜18区コンサート 10公演</p> <p>■各区後援 10公演</p> <p>区民文化センター 共催または協力6公演</p> <p>イ 横浜音祭り 2022 準備</p> <p>□プロデューサー (アーティスト) 選定 1名</p>

<p>*横浜音祭り 2022 に向けて、アーティストが企画からプロデュースまでを担う独自プロジェクトを始動させます。</p>		<p>藤木大地 (カウンターテナー)</p>
<p>ウ リニューアル後につながるオルガン事業展開</p> <p>●オルガン連携事業</p> <p>*「パイプオルガンと横浜の街」実施とともに、他施設のオルガン担当者とのネットワークを継続していくための情報収集、次期ホールオルガニストとの事業企画、連絡調整などを通し、リニューアル後もホールの顔となるオルガン活用の展開を検討していきます。</p>	<p>ウ リニューアル後につながるオルガン事業展開</p> <p>■オルガン担当者ミーティング実施</p> <p>■次期ホールオルガニストとの連絡調整</p>	<p>ウ リニューアル後につながるオルガン事業展開</p> <p>■「パイプオルガンと横浜の街」実施に合わせ、他施設と連携</p> <p>■次期ホールオルガニストと、次年度事業の展開について、定期的にミーティング実施</p>
<p>エ 市内の商業施設等でのアウトリーチ事業</p>	<p>エ 市内の商業施設等でのアウトリーチ事業</p> <p>休館期間中もクイーンズスクエア横浜で賑わい創りイベントを実施</p>	<p>エ 市内の商業施設等でのアウトリーチ事業</p> <p>■9/18, 20 三溪園観月会</p> <p>■11/20 クイーンズスクエア横浜「MUSIC DAYS」に出演</p> <p>*みなとみらい Super Big Band、Estrella (みなとみらい Super Big Band 卒業生バンド)、中林俊也 KCOM カルテット (中林がみなとみらい Super Big Band 卒業生)</p> <p>■12/17 お城 EXPO 前夜祭</p> <p>■3/5 横浜 WEB ステージ イベント「8K3D シアター in クイーンズスクエア横浜」</p>

6 運営についての達成状況

(1) 利用者のニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取組
—再開館後に利用者のニーズに応えられる運営を行うために以下の取組をすすめます—

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 施設運営方針改訂</p> <p>●再開館後の施設運営（利用受付、利用料金、附帯設備利用料、レセプションist運営等）について変更案を作成し館内で合意するとともに横浜市と協議を進めます。</p>	<p>ア 施設運営方針改訂</p> <p>■第3期指定管理期間における施設運営方針策定（種別）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール利用受付方法 ・ホール利用調整会の運用 ・利用料金（附帯設備利用料） ・レセプションist運営 ・公演運営方法（演奏会の記録など） <p>■上記に基づき、休館後の受付業務を開始します。</p>	<p>ア 施設運営方針改訂</p> <p>■再開館後の貸館運営について、下記の通り方針を定めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付方法 メールまたは郵送 ・抽選会 代行抽選 ・利用調整会 変更なし ・利用料金 変更なし ・レセプションist 新規配置 ・公演運営 変更なし <p>■22年11月利用から貸館受付を開始した。</p> <p>5月：大ホール抽選再開 8/19～10/11：新規受付停止 11月：小ホール抽選再開</p>
<p>イ 利用要綱等改訂</p> <p>●アの方針に沿って、施設利用要綱、施設運営マニュアル、施設利用案内の改訂を行います。</p>	<p>イ 利用要綱等改訂</p> <p>■利用要綱改訂</p> <p>■施設運営マニュアル改訂</p> <p>■施設利用案内作成</p>	<p>イ 利用要綱等改訂</p> <p>■利用要綱 改定（R4.4 施行）</p> <p>■施設運営マニュアル リニューアルに向けて段階的に改定</p> <p>■施設利用案内 利用の手続き案内を改定</p>
<p>ウ 施設管理システム改訂</p> <p>●練習室の利用受付、大小ホールの空き情報の照会、利用受付及び利用前打合せをオンライン化します。</p>	<p>ウ 施設管理システム改訂</p> <p>■施設管理システム改訂</p> <p>■ウェブサイト機能追加（オンライン化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習室利用受付 ・大小ホール空情報照会 ・利用受付、利用打合せ 	<p>ウ 施設管理システム改訂</p> <p>■施設予約システム 改修済</p> <p>■ウェブサイト機能追加製作中 大小ホール抽選会と利用受付は5月よりオンライン対応済 練習室利用受付機能を令和4年8月公開予定</p>

<p>エ レセプションист 運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公演形態に応じてレセプションистの配置数を柔軟に行えるよう運営方法を変更します。 ●レセプションист採用準備を行います。 <p>オ その他運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ●託児サービス、ドリンクサービス運営等について運営課題を洗い出し変更すべき点について計画します。 	<p>エ レセプションист運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ■レセプションист用マニュアル改訂 ■レセプションист採用計画策定 ■レセプションист研修計画策定 ■レセプションист採用要項作成 <p>オ その他運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ■その他運営変更点について、施設運営マニュアルへの反映 	<p>エ レセプションист運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ■マニュアル改訂は次年度予定 ■採用計画は策定済 ■研修計画は策定済 ■募集要項は作成済 <p>オ その他運営変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ■次年度に向けて検討中
--	--	---

(2) 日本を代表するとともに、市民の身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取組
—長期休館中の取組—

<p>[取組内容]</p> <p>ア 利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣企業等にも利用促進をはかります。 ●利用率 大ホール 小ホール リハーサル室 レセプションルーム 音楽練習室 <p>イ 満足度の高い運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レセプションist・マネージャーミーティングの実施 <p>ウ 施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通常のホール利用下見対応 	<p>[達成指標]</p> <p>ア 利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>休館中のため無し <input type="checkbox"/>利用率 休館中のため全諸室で利用無し <p>イ 満足度の高い運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レセプションist・マネージャーミーティングの実施：無し <p>ウ 施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> 休館中のため、対応無し 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>顧客向けコンサート等：0件 <input type="checkbox"/>施設利用率 全施設：0% <p>イ 満足度の高い運営</p> <ul style="list-style-type: none"> レセプションist不在のため実施せず <p>ウ 施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> 休館中のため、対応無し
---	--	---

<p>エ 物販</p> <p>●ホールと横浜の魅力を発信する物販に取り組みます。</p> <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <p>●窓口を貸事務所に設置し、業務の基準に従い適切に実施します。</p> <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>●大ホール・小ホールホワイエに設置されているドリンクコーナーにおいて主催者の求めに応じ公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意します。</p> <p>キ 託児サービス</p> <p>●HP 等を活用した託児サービスの周知</p>	<p>エ 物販</p> <p>休館中のため、対応無し</p> <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <p>■丁寧で正確な対応を実施します。</p> <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>休館中のため、対応無し</p> <p>キ 託児サービス</p> <p>■事業によって設置する場合は周知を行います。</p>	<p>エ 物販</p> <p>休館中のため、対応無し</p> <p>オ 問合せ相談・チケットセンター窓口</p> <p>■丁寧で正確な電話対応を実施しました。</p> <p>カ ドリンクコーナー</p> <p>休館中のため、対応無し</p> <p>キ 託児サービス</p> <p>■令和3年度においては実施しませんでした。</p>
---	---	---

(3) プロモーションの充実

<p>[取組内容]</p> <p>ア 広報プロモーション</p> <p>●ホールブランドの確立に向けて館内外の意見を集約するとともに、他施設との差別化をはかるためコンセプトを定めま</p> <p>す。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 広報プロモーション</p> <p>■ホールコンセプトの策定</p> <p>■ロゴ・シンボルマークの作成</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>ア 広報プロモーション</p> <p>■ホールコンセプトの策定</p> <p>■ロゴ・シンボルマークの作成</p> <p>ホール職員を中心に専門家を交えたプロジェクト組織を発足させ、ホールコンセプトの策定、ロゴ・シンボルマークの作成を行いました。</p>
--	--	---

<p>●ホールのイメージを统一的に発信するためホールロゴタイプとシンボルマークを策定します。</p> <p>●休館中の取組について様々な手法を用いてPRを行います。</p>	<p>□メルマガ配信：年 10 回</p> <p>□ツイッターフォロワー数：8,000 名</p> <p>休館期間中においてもフォロワー数を維持します（令和元年度：7,172 名）</p>	<p>□メルマガ配信：年 25 回実施</p> <p>□ツイッターフォロワー数：8,970 名</p> <p>専門家とともに運用の目的・方法の見直しも行いました。</p>
<p>イ WEB サイトのリニューアル</p> <p>●ホールの魅力とコンセプトを分かりやすく伝えるため公式ウェブサイトの改訂を行います。</p> <p>●スマートフォンやタブレット端末で視聴できるようにモバイル対応を実現します。</p> <p>●施設のオンライン予約機能など施設管理システムと連携した機能を搭載します。</p>	<p>イ WEB サイトのリニューアル</p> <p>■公式ウェブサイト改訂業務のプロポーザル実施</p> <p>■公式ウェブサイト改訂業務の実施設計の実施</p>	<p>イ WEB サイトのリニューアル</p> <p>■公式ウェブサイトの改定業務のプロポーザルを行いました。</p> <p>□参加事業者数：8 社（うち 3 社辞退）</p> <p>■公式ウェブサイトの改定・設計業務を実施しました。</p>
<p>ウ 友の会組織のウェブ会員への移行</p> <p>●みなとみらいホールの顧客である「みらいすとクラブ」からウェブ会員組織へスムーズな移行を実現します。</p> <p>●ウェブ会員組織へ提供するサービスを検討します。</p>	<p>ウ 友の会組織の WEB 移行</p> <p>□WEB 会員への移行者 800 名</p> <p>■WEB 会員組織運営要綱</p>	<p>ウ 友の会組織の WEB 移行</p> <p>□WEB 会員への移行者；610 名</p> <p>■これまでの会員組織を見直し、新しくウェブ会員組織「横浜みなとみらいホールウェブフレンズ」を立ち上げ、組織運営要綱を策定しました。</p> <p>□サービス検討</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入会金・年会費 無料 2. メールマガジンによる最新情報 3. チケットの先行販売 4. チケット割引販売 5. 近隣施設のクーポン 6. 会員限定企画の招待

(4) 条例の遵守

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 施設予約開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リニューアルオープンに向けて大小ホールの新規予約を開始します。 ●新規予約受付に際しては感染症拡大防止をはかるため対面ではなく期間を設けて郵送やメールで受付を行います。 <p>イ 利用料金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●条例に基づき適切な料金徴収を行います。 	<p>ア 施設予約開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大ホール： 2022年5月から予約受付 小ホール： 2022年11月から予約受付 <p>イ 利用料金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■適正な料金徴収 	<p>ア 施設予約開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ■5月に22年11月大ホール利用抽選から利用受付を再開しました。 8/19 コロナ感染拡大に伴う市内施設の新規貸館受付停止措置を受け、8/19～10/11の新規貸館受付を停止。10/21に23年3・4月の利用抽選会を実施しました。 ■22年11月小ホール受付を11月に予定通り再開しました。 ■受付方法 メールまたは郵送 <p>イ 利用料金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ■5月より利用料金事務を再開 ■1月より小ホールはスマホ支払いに対応しました。

7 施設維持管理についての達成状況

(1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>ア 長期休館中の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期休館中のピアノ移転やパイプオルガンにかかる作業について、横浜市等と適切に調整を行います。 ●リニューアルオープン後の警備業務、設備業務、清掃業務について課題を洗い出し適切な業務内容に改訂します。 ●ホール建物、諸設備、備品類の現状などの情報交換を密にはかり、大規模修繕関係各 	<p>ア 長期休館中の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故0件 ■警備業務仕様書 ■設備業務仕様書 ■清掃業務仕様書 	<p>ア 長期休館中の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故；0件 ■警備業務仕様は次年度に向け検討を行いました。 ■建物・設備の工事内容を確認し、変更される箇所、されない箇所を整理し、再入居時に必要な業務、年間保守について横浜市と確認しました。

<p>所との協力・調整をはかります。</p> <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●横浜市による大規模修繕計画実施への協力し、リニューアルオープン後の点検・定期整備事項について、情報収集を行います。 ●QSY 管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携をはかります。 ●仮事務所における施設管理業務について、設備管理・清掃管理を専門業者に委託し、相互の連携をはかる。 <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築衛生環境を維持管理します。 <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●保安警備業務を適切に行います。 <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務の基準に基づき駐車場御利用者等の安全確保に努めます。 	<p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □定例会議参加 月 1 回 <p>□QSY 定例会議参加 月 1 回</p> <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <p>仮事務所において以下の通り業務を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> □空気環境測定 年 6 回 □照度測定 年 1 回 ■ごみ分別の徹底 <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故 0 件 <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故 0 件 ■改修工事に必要な駐車場（クイーンズスクエア横浜）借上げ 	<p><u>イ 設備維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □大規模改修工事定期会議 参加 □ホール現地打合せ 12 回 □舞台技術者の手配 9 回 <p>□QSY 管理組合事務局会議 月 1 回参加（4 月を除き Zoom）</p> <p>□PLOT48 施設管理について、施設管理者と毎月の作業計画・報告を受け、執行状況を確認しました。</p> <p>□ネズミ対策で全館点検を行い、天井や壁の穴を塞ぎ、防除を行いました。</p> <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □空気環境測定 偶数月に実施 □照度測定 0 回 <p>コロナ禍が続き、PLOT48 内でのチケット販売や公開公演を行うことができず、興行場法に基づく照度測定は未実施。</p> <p>■ごみ分別 実施</p> <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故 0 件 <p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故 0 件 ■ホール改修工事に必要な B2F 駐車場、B1F 駐車場（クイーンズスクエア横浜）を借り上げました。
--	---	---

<p><u>カ 中庭の取り扱い</u></p> <p>●植栽の手入れを業者に委託します。</p> <p><u>キ 防災等</u></p> <p>●業務の基準に基づき、防火防災に努めます。</p> <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <p>●防災マニュアル、危機管理マニュアル</p> <p>●救急要請、事故報告</p> <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <p>●電気主任技術者</p> <p>●建築物環境衛生管理技術者</p> <p>●無線従事者</p> <p>●甲種防火管理者及び防災管理者</p>	<p><u>カ 中庭の取り扱い</u></p> <p>□植栽手入れ 年数回</p> <p><u>キ 防災等</u></p> <p>■地域全体の防災関連情報を共有します。</p> <p>□防災管理自主点検 年2回</p> <p>□防災設備点検 年1回</p> <p>□消防訓練・防災訓練 年1回</p> <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <p>■施設内で周知します。</p> <p>■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに職員への周知を徹底します。</p> <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <p>■電気主任技術者の委託をもって配置にかえます。</p> <p>■建築物環境衛生管理技術者を委託し配置</p> <p>□無線従事者 2名配置</p> <p>□防火・防災管理者 職員1名配置</p>	<p><u>カ 中庭の取り扱い</u></p> <p>□植栽の手入れ 0回</p> <p>工事中のため、委託を見合わせました。</p> <p><u>キ 防災等</u></p> <p>■工事につき QSY 防火防災管理協議会会議には参加しませんでした。</p> <p>□防火管理自主点検 工事につき実施せず</p> <p>□PLOT48 消防設備点検 2回</p> <p>□PLOT48 消防訓練・防災訓練 1回実施</p> <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <p>■PLOT48 に横浜美術館が入居し、防災・危機管理マニュアルを作成、スタッフ全員で共有しました。</p> <p>■救急要請 0件</p> <p>怪我対応やコロナ感染情報の共有を PLOT48 全体で行いました。</p> <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <p>■電気主任技術者 1名配置</p> <p>■建築物環境衛生管理技術者は QSY 管理組合全体で業務委託し配置しました。</p> <p>□無線従事者 配置なし</p> <p>携帯電話抑止装置は返却しており不要となりました。</p> <p>□防火・防災管理者 1名</p> <p>PLOT48 に同居する、横浜美術館に配置しました。</p>
--	---	--

8 その他の業務についての達成状況

(1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <p>●政策経営協議会を開催します。</p>	<p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <p>■横浜市の文化政策に則った適正な運営を行います。</p>	<p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <p>■12/20、3/10；2回実施</p>
<p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <p>●モニタリングを実施します。</p> <p>●政策経営協議会での協議に基づき、効果的に年間業務計画を策定します。</p>	<p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <p>□原則月1回</p> <p>■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画につなげます。</p>	<p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <p>□モニタリング 実施</p> <p>■モニタリング時の情報交換を密にし、工事の進捗を確認するほか、コンセプトやスローガン策定や広報計画、再開後の管理業務に細かく確認をとり、リニューアル業務に反映させました。</p>
<p><u>ウ 業務評価</u></p> <p>●PDCA サイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。</p>	<p><u>ウ 業務評価</u></p> <p>□自己評価・横浜市評価の実施</p> <p>■指定管理者選定評価委員会による外部評価・業務視察・ヒアリングの実施</p>	<p><u>ウ 業務評価</u></p> <p>□令和2年度業務の自己評価、行政評価を実施しました。</p> <p>■指定管理者選定評価委員会による外部評価、行政視察、ヒアリングにそれぞれ対応しました。</p>

(2) 収支計画

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><u>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u></p> <p>●ファンドレイジング活動に取り組みます。</p>	<p><u>ア 収入</u></p> <p>□企業協賛金・助成金獲得 約5,000千円</p>	<p><u>ア 収入</u></p> <p>□企業協賛金・助成金獲得 企業協賛金 1,350千円 助成金 15,222千円</p>
<p><u>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</u></p> <p>●省エネルギー化やコスト削減を検討します。</p>	<p><u>イ 支出</u></p> <p>■廃棄物の発生量削減に努め、廃棄に要するコスト削減につなげます。</p>	<p><u>イ 支出</u></p> <p>■電子帳簿保存法に対応し、ペーパーレス化を図るため、財団全体で業務を見直しました。</p>

9 組織に関する業務の計画についての達成状況

(1) 組織について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]																																																									
<p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>●組織内意思決定</p> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>●ホールの新しい事業を企画するために必要な人材と人員を確保し、より高い専門性を発揮できる組織づくりに努めます。</p> <p>●リニューアルオープン後の運営体制を企画立案できるような人材を配置します。</p>	<p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>■グループ長会議を毎週開催してホール運営にかかる方針を決定、議案を決議します。</p> <p>■リーダー以上が参加する連絡会議を毎週開催して共有、円滑に執行します。</p> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <p>■適正な人員配置</p> <table border="1" data-bbox="571 1061 895 1917"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1名</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>総支配人</td> <td>1名</td> <td>課長級 常勤</td> </tr> <tr> <td>グループ長</td> <td>2名</td> <td>課長級 事業1 経営1</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>3名</td> <td>係長級 事業1 経営2</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2名</td> <td>経営2</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8名</td> <td>事業4 経営4</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>3名</td> <td>事業1 経営2</td> </tr> <tr> <td>受付スタッフ</td> <td>適宜</td> <td>チケットセンタースタッフ兼務</td> </tr> </tbody> </table>		人数	備考	館長	1名	非常勤	総支配人	1名	課長級 常勤	グループ長	2名	課長級 事業1 経営1	チームリーダー	3名	係長級 事業1 経営2	担当リーダー	2名	経営2	職員	8名	事業4 経営4	アルバイト	3名	事業1 経営2	受付スタッフ	適宜	チケットセンタースタッフ兼務	<p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <p>■グループ長会議、リーダー以上が参加する企画運営会議をそれぞれ週1回開催し、意思決定と情報共有を行いました。</p> <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮する組織</u></p> <p>■専門性に応じた人員配置をし、専門性を発揮できる組織づくりに努めました。</p> <table border="1" data-bbox="949 1155 1428 1917"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1名</td> <td>非常勤</td> </tr> <tr> <td>総支配人</td> <td>1名</td> <td>課長級 常勤</td> </tr> <tr> <td>グループ長</td> <td>2名</td> <td>課長級 事業1、経営1</td> </tr> <tr> <td>担当グループ長</td> <td>1名</td> <td>兼務 事業1</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>3名</td> <td>係長級 事業1、経営2</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>2名</td> <td>経営1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>8名</td> <td>事業4、経営5</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>3名</td> <td>事業1、経営2 途中採用 経営2 うち引継ぎ対応1</td> </tr> <tr> <td>受付スタッフ</td> <td>8名</td> <td>チケットセンタースタッフ兼務</td> </tr> </tbody> </table>		人数	備考	館長	1名	非常勤	総支配人	1名	課長級 常勤	グループ長	2名	課長級 事業1、経営1	担当グループ長	1名	兼務 事業1	チームリーダー	3名	係長級 事業1、経営2	担当リーダー	2名	経営1	職員	8名	事業4、経営5	アルバイト	3名	事業1、経営2 途中採用 経営2 うち引継ぎ対応1	受付スタッフ	8名	チケットセンタースタッフ兼務
	人数	備考																																																									
館長	1名	非常勤																																																									
総支配人	1名	課長級 常勤																																																									
グループ長	2名	課長級 事業1 経営1																																																									
チームリーダー	3名	係長級 事業1 経営2																																																									
担当リーダー	2名	経営2																																																									
職員	8名	事業4 経営4																																																									
アルバイト	3名	事業1 経営2																																																									
受付スタッフ	適宜	チケットセンタースタッフ兼務																																																									
	人数	備考																																																									
館長	1名	非常勤																																																									
総支配人	1名	課長級 常勤																																																									
グループ長	2名	課長級 事業1、経営1																																																									
担当グループ長	1名	兼務 事業1																																																									
チームリーダー	3名	係長級 事業1、経営2																																																									
担当リーダー	2名	経営1																																																									
職員	8名	事業4、経営5																																																									
アルバイト	3名	事業1、経営2 途中採用 経営2 うち引継ぎ対応1																																																									
受付スタッフ	8名	チケットセンタースタッフ兼務																																																									

<p>ウ 仮事務所内における執務</p> <p>●仮事務所内では平日勤務とし主催事業やホール利用状況に応じて出勤職員及び人数を決定します。</p>	<p>ウ 仮事務所内における執務</p> <p>□営業時間</p> <p>平日 10:00-17:00 (職員勤務 平日 9:00-17:45)</p>	<p>ウ 仮事務所内における執務</p> <p>□営業時間</p> <p>計画どおり運営</p> <p>事務所 平日 10:00～17:00 (職員勤務 平日 9:00～17:45)</p> <p>フィットセンター 月～木 11:00～16:00</p>
---	--	---

(2) 人材育成

<p>[取組内容]</p> <p>施設における組織力の向上のため、人材育成に取り組めます。</p> <p>●MBO による OJT を積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。</p> <p>●職員の育成を目的とした自発的な研修を奨励します。</p> <p>●事務局研修への参加</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■MBO の目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行います。</p> <p>■新規配属職員への個人情報保護研修(年1回実施)</p> <p>■事務局研修に積極的に参加できる体制をつくります。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■MBO で目標設定を明確にし、OJT や中間・期末の面談を計画的に実施しました。</p> <p>■ホール情報管理状況を踏まえた新配属職員への個人情報保護研修： 4/6, 5/24</p> <p>■財団事務局で開催した研修、専門人材研修の他、クラシック演奏家協会やみなどみらい地区主催の外部研修にも、コロナ禍以降普及したウェビナー等も活用しながら、積極的に参加しました。</p> <p>■事業企画グループ職員が神奈川フィルへの人材派遣研修に参加(6/1～12/31)、専門性向上とネットワーク強化に努めました。</p>
---	---	---

10 留意事項

(1) 保険及び損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <p>●施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジャーサービス費用保険</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各種保険に加入し、保険対応が必要な案件があった場合は、速やかに対応します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■PL0T48 においても定められた内容で各種保険に加入しました。</p> <p>□保険対応案件 0件</p>
---	---	---

(2) 法令の遵守と個人情報保護

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 公の施設の管理者として法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。</p> <p>● 「マイナンバー制度」導入に伴い、事務取扱い手順を徹底し事故防止に努めます。</p>	<p>■ 個人情報取扱いマニュアルの周知徹底</p> <p>■ マイナンバー制度事務取扱い手順の徹底</p>	<p>■ 個人情報取り扱いマニュアルを配布し、周知徹底しました。アウトリーチ事業で外部持ち出しする個人情報取り扱いマニュアルを作成しました。</p> <p>■ 仮事務所内にマイナンバー業務を取り扱う場所を整備し、事務手順を徹底しました。</p>

(3) 情報公開への積極的な取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 公の施設の管理者として、説明責任を果たす観点から、情報公開に対し積極的に取り組みます。</p>	<p>■ 横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行います。</p>	<p>□ 一般の方からの情報公開請求：0件</p>

(4) 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>● 横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。</p>	<p>■ 政策経営協議会や関係機関との会議はもちろん、日頃の連携をはかり、報告等速やかに行います。</p>	<p>■ 日頃から横浜市との連携をはかり、報告事項が発生した際は速やかに対応しました。</p>

以上

令和3年度 「横浜みなとみらいホール」 収支報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	440,596,000	0	440,596,000	440,596,000	0	横浜市より
通常運営費	407,769,000	0	407,769,000	407,769,000	0	
大規模改修(移転関係)	31,243,000	0	31,243,000	31,243,000	0	
大規模改修(駐車場借上げ)	1,584,000	0	1,584,000	1,584,000	0	
市委託料収入	0	0	0	0	0	心の教育ふれあいコンサート 休館中につき実施せず
利用料金収入	0	0	0	0	0	長期休館による
自主事業収入	24,966,000	0	24,966,000	42,247,720	17,281,720	
自主事業収入	9,966,000	0	9,966,000	12,247,720	2,281,720	入場料、講座料など
市負担金収入(アクション)	15,000,000	0	15,000,000	30,000,000	15,000,000	芸術アクション事業負担金
雑入	6,550,000	0	6,550,000	18,379,516	11,829,516	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	長期休館による
協賛金・助成金・寄付金	6,550,000	0	6,550,000	18,314,516	11,764,516	文化庁「地域の核劇場・音楽堂等活性化事業」、企業協賛金等
その他(ごみ処理代など)	0	0	0	65,000	65,000	
収入合計	472,112,000	0	472,112,000	501,223,236	29,111,236	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	157,031,000	0	157,031,000	146,799,614	10,231,386	
給与・賃金	127,692,000	0	127,692,000	120,563,386	7,128,614	館長以下職員18名、臨時雇用職員(受付スタッフ含む)11名
社会保険料	19,066,000	0	19,066,000	16,281,417	2,784,583	
通勤手当	4,406,000	0	4,406,000	4,102,931	303,069	
健康診断費	176,000	0	176,000	220,025	44,025	
勤労者福祉共済掛金	102,000	0	102,000	32,000	70,000	
退職給付引当金繰入額	5,589,000	0	5,589,000	5,599,855	10,855	
事務費	25,276,000	0	25,276,000	33,754,094	8,443,364	
旅費	433,000	0	433,000	523,333	90,333	職員、臨時雇用職員出張旅費
消耗品費	1,330,000	0	1,330,000	9,285,211	7,955,211	レセプションリスト制服更新等
会議滞在費	15,000	0	15,000	19,721	4,721	ペットボトルお茶、菓子代
印刷製本費	150,000	0	150,000	261,690	111,690	封筒印刷等
通信費	1,194,000	0	1,194,000	907,162	286,838	電話代、ネット回線使用料、郵送費等
使用料及び賃借料	307,000	0	307,000	1,367,200	1,060,200	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	307,000	0	307,000	1,367,200	1,060,200	ソフトウェアライセンス料、コピー機、AEDレンタル料等
備品購入費	7,800,000	0	7,800,000	8,192,446	392,446	施設予約管理用サーバー、予約システム改修等
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000	0	50,000	51,640	1,640	
委託費	11,367,000	0	11,367,000	12,254,750	887,750	仮事務所管理委託費は「事務所移転関連経費」内に計上
職員等研修費	0	0	0	0	0	
振込手数料	300,000	0	300,000	266,245	33,755	銀行振込手数料
リース料	1,685,000	0	1,685,000	139,634	1,545,366	サーバー、PCリース
手数料	480,000	0	480,000	331,348	148,652	残高証明書発行手数料、金種指定手数料等
地域協力費	165,000	0	165,000	118,984	46,016	QSYイベント実行委員会等
雑費	0	0	0	34,730	34,730	慶弔費(祝花、供花)
事業費	97,846,000	0	97,846,000	95,157,470	2,688,530	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	0	0	0	0	0	心の教育ふれあいコンサート 休館中につき実施せず
自主事業費(アクション)	38,877,000	0	38,877,000	55,323,582	16,446,582	18区コンサート、クリエイティブ・インクルージョン事業等
自主事業費	58,969,000	0	58,969,000	39,833,888	19,135,112	
管理費	75,367,000	0	75,367,000	61,939,693	13,427,307	
光熱水費	47,800,000	0	47,800,000	35,343,896	12,456,104	
電気料金	3,450,000	0	3,450,000	3,116,433	333,567	横浜みなとみらいホール電気代基本料金
冷温水料金	44,350,000	0	44,350,000	32,227,463	12,122,537	横浜みなとみらいホール地域冷暖房基本料金
水道料金	0	0	0	0	0	
修繕費	0	0	0	21,175	21,175	仮事務所の修繕は「事務所移転関連経費」内に計上
機械整備費	0	0	0	0	0	工事中のため経費執行なし
設備保全費	4,934,000	0	4,934,000	3,995,772	938,228	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	仮事務所の保守点検は「事務所移転関連経費」内に計上
消防設備保守	0	0	0	0	0	仮事務所の保守点検は「事務所移転関連経費」内に計上
電気設備保守	0	0	0	0	0	仮事務所の保守点検は「事務所移転関連経費」内に計上
建物管理費	3,878,000	0	3,878,000	3,876,972	1,028	QSY BAシステム、排水槽清掃
その他委託費	1,056,000	0	1,056,000	118,800	937,200	舞台の管理運営に関する相談業務等
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	22,633,000	0	22,633,000	22,578,850	54,150	QSY組合管理、MM21年会費、その他会費
公相公課	21,917,000	0	21,917,000	21,610,834	306,166	
事業所税	16,000	0	16,000	0	16,000	
消費税	21,781,000	0	21,781,000	21,548,600	232,400	消費税
印紙税	95,000	0	95,000	31,800	63,200	収入印紙代
その他(電波使用料など)	25,000	0	25,000	30,434	5,434	電波使用料等
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	61,848,000	0	61,848,000	61,848,000	0	
本部分	61,848,000	0	61,848,000	61,848,000	0	
事務所移転関連経費	31,243,000	0	31,243,000	31,884,722	641,722	
移転費用(引っ越し・整備費)	0	0	0	7,720,100	7,720,100	再開館に向けた什器備品の購入等
事務所管理費用(賃借料、管理費、光熱水費)	31,243,000	0	31,243,000	24,164,622	7,078,378	仮事務所管理経費(賃借料、光熱水費、管理委託費等)
大規模改修(地下2階駐車場借上げ)	1,584,000	0	1,584,000	1,584,000	0	
地下2階駐車場借上げ費	1,584,000	0	1,584,000	1,584,000	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	472,112,000	0	472,112,000	454,578,427	17,568,303	
差引	0	0	0	46,644,809	46,679,539	財団職員の人事異動により、予算より2,495,000円職員人件費が減少した分を含んでいる。そのため実質的な収支差額は、44,149,809円である。

自主事業費収入				42,247,720	
自主事業費支出				95,157,470	
自主事業収支				52,909,750	
管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	